

組立説明書

スーパーラブジャンボ

- この度は、お買い上げ下さいまして誠に有難うございます。
- 正しく組立を行なっていただくために必ず本書を読み、よく理解して下さい。
- 製品の品質は、万全をつくして生産していますが、万が一問題が有りましたらお買い上げの販売店へご連絡下さい。
- サポート・側面張りの組立方法は各セットの組立説明書を参照下さい。

目次

■ 施工に必要な工具・資材類	2	■ 単体組立	5 ~ 8
■ 単体基寸法	2	■ 連棟組立	9 ~ 10
■ 組立て上の注意	3		
■ 梱包明細	4		
■ 各部名称	4		

組立前に必要な準備

工具

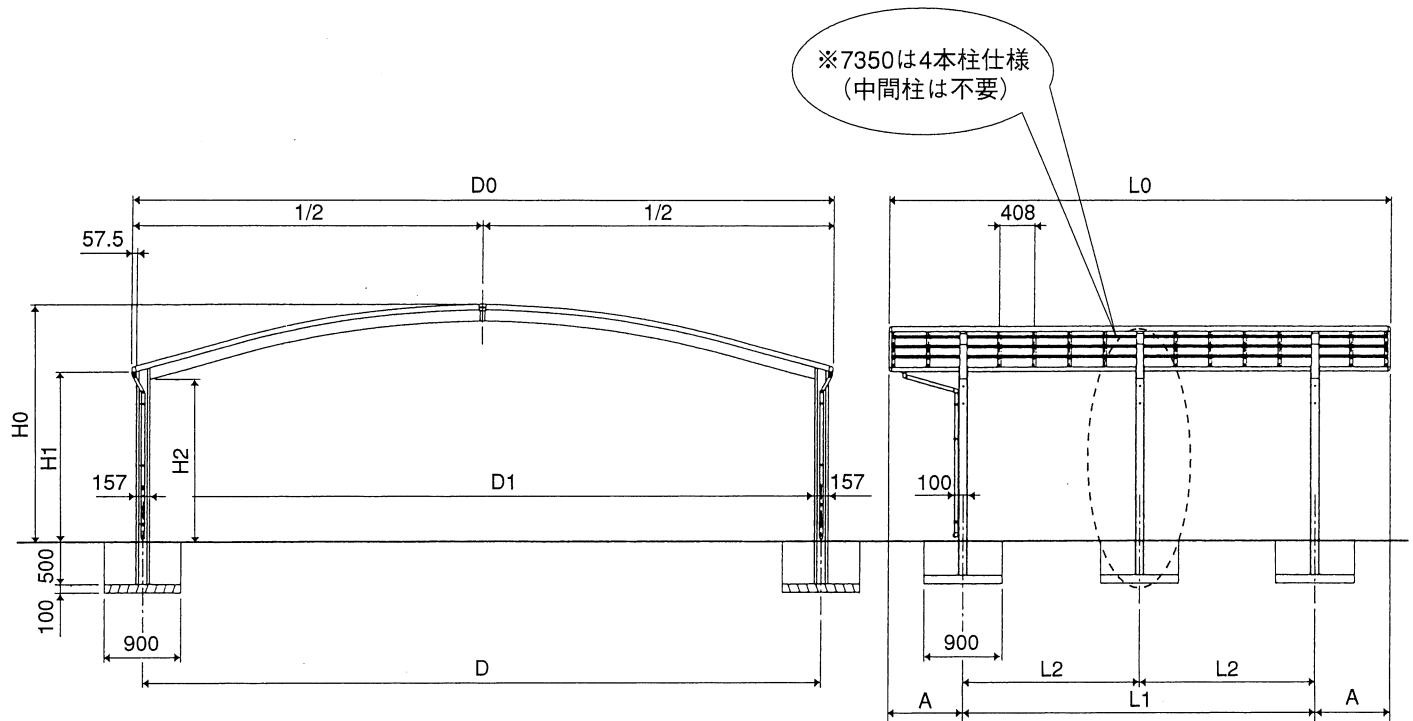
- 1) 充電ドライバー・電気ドライバーまたはプラスドライバーおよびボックスドライバー
- 2) ソケットレンチハンドルおよびソケットまたはモンキースパナ
- 3) スケール・水準器・下げ振り・カッター
- 4) 切断機または金鋸
- 5) スコップ
- 6) その他必要に応じて工具・資材を用意して下さい。

資材

基礎部仕上げ必要資材一式

- セメント
- 砂
- 割栗石
- その他、水等

基本寸法



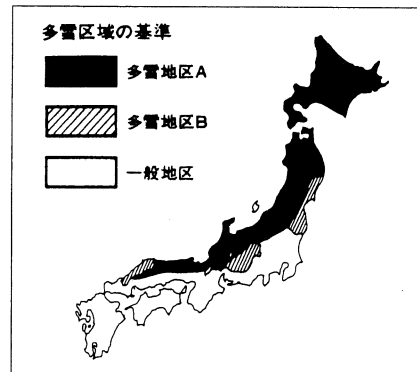
寸法表

	D0	D	D1	H0	H1	H2	L0	L1	L2	A
7350	7275	7000	6843	3007	2283	2200	4996	2900	—	1048
8050	8247	7975	7818	2754	1983	1900	4996	3264	1632	866
8058	8247	7975	7818	2754	1983	1900	5812	4080	2040	866

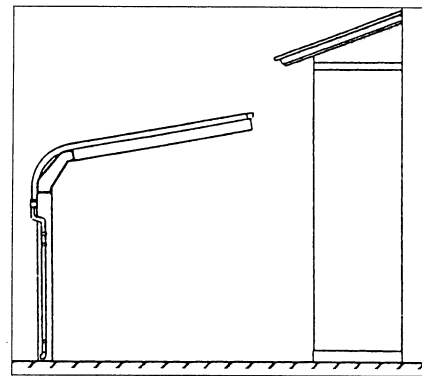
※ロング柱仕様の場合は
H寸法プラス400mmとなります
(8050, 8058のみ)

組立上の注意事項

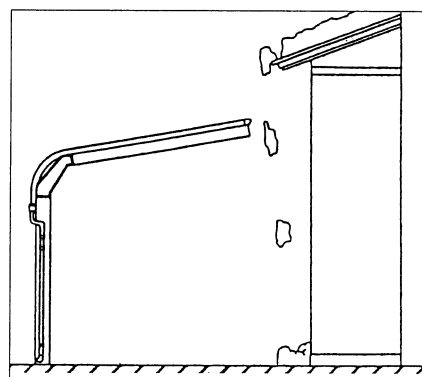
1 この商品は、一般地域向けです。□部分で、使用して下さい。



2 カーポートの屋根が強風であられない様に前枠を建物に向けて施工して下さい。



3 屋根からの落雪が予想される場所では、カーポートに直接落雪しない様配慮して下さい。



4 本製品の組立は組立説明書に従い、みだりに改造、変更しないで下さい。

5 基礎は指定の大きさに必ずアンカー棒を取付けコンクリートで固定して下さい。寒冷地では柱の凍結破損防止の為、基礎に近い場所にφ5水抜穴を開けて下さい。

6 基礎施工に海砂を使用しますと、アルミへの腐食原因になりますので、使用をさけるか、十分に水洗いしたものを使用下さい。

7 コンクリート（又はモルタル）に急結剤を絶対に使用しないで下さい。

8 屋根パネルには、両面に養生テープが貼ってあります。施工の際には、必ず両面の養生テープをはがして下さい。

9 ネジ・ボルト締め箇所は、全て確実に締めた事を確認して下さい。

10 組立完了後、同添の取扱い説明書に必要事項を記入し、本書といっしょに施主様へお渡し下さい。

梱包明細

■9-1 柱セット (ロング柱セット…80のみ)

品名	員数
①柱(ロング柱)	2(2)

■9-2 スチールアームセット

品名	員数
スチールアーム	2

■9-3 ノボリセット

品名	73	80
②ノボリ	2	3

■9-4 コーナーアーチセット

品名	員数
⑥コーナーアーチ R/L	各2
⑨コーナーパネル押さえ	4

■9-5 中間アーチセット

品名	50	58
⑦中間アーチ	11	13
⑨中間パネル押さえ	11	13

■9-6 奥行部材セット

品名	員数
④棟木	1
③樋	2
共通樋部品(φ42)	4
丸樋 φ42 L=3200	4
樋パッキンC	4

■9-7 母屋セット

品名	73	80
⑤母屋	8	10

■9-8 部品箱

品名	73	80
ノボリ連結金具	2	3
合掌キャップ	2	2
樋側コーナーキャップ R/L	各2	各2
ノボリ隙間キャップ	4	6
セットビス	1	1
コーキング 330ml	1	1
組立説明書・取扱説明書	各1	各1
積雪注意シール	1	1

■9-9 屋根材セット

品名	4枚入
⑧屋根パネル	4

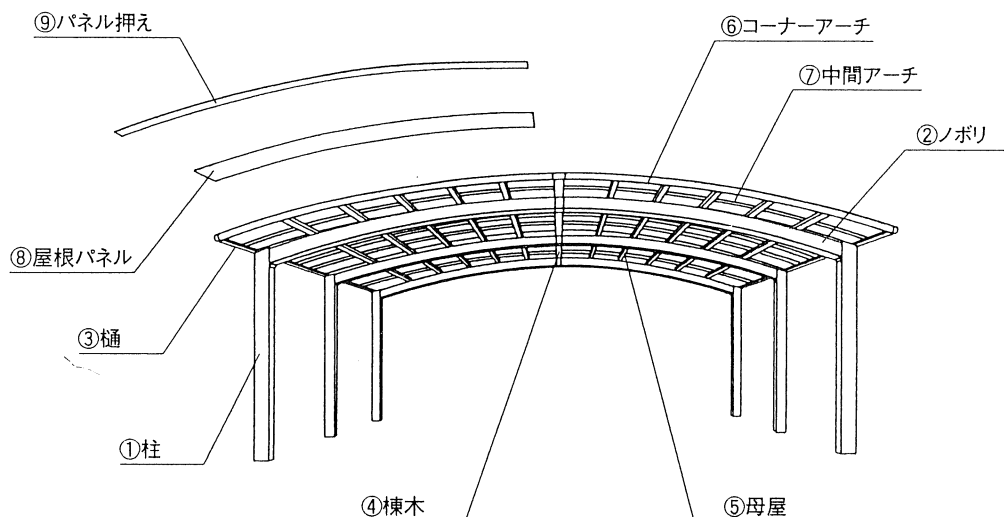
■共通樋部品(φ42)

品名	員数
アタッチメント	1
ドレンエルボ 88°	1
エルボ 88°	2
サドル・サドル受け	3
φ4×19テクスビス	5
接着剤	1
水止めキャップ φ30	1

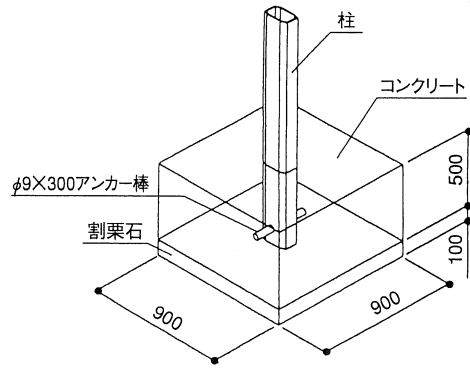
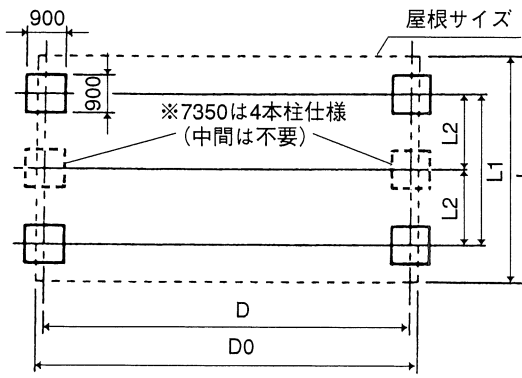
■セットビス明細

品名	員数
M8×170ボルト(1),平座金(2),バネ座金(1),袋ナット(1)	12
M8×145ボルト(1),平座金(2),バネ座金(1),袋ナット(1)	12
M8×20ボルト Wセムス	24
φ5×10トラスタッピング 3種	84
φ5×10トラスタッピング 1種(ゴムパッキン付)	610
φ4×20トラスタッピング 1種	210
φ4×12トラスタッピング 1種	4
φ4×16皿テクスビス	6
φ4×19テクスビス	10
φ9×300アンカー棒	6

梱包明細



1. 基礎部の施工

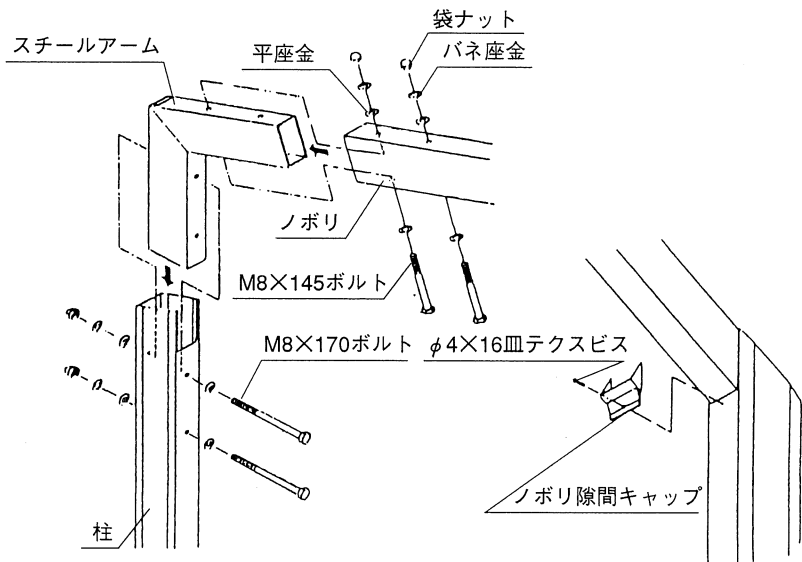


寸法表

	L	L1	L2	D0	D
7350	4996	2900	—	7275	7000
8050	4996	3264	1632	8247	7975
8058	5812	4080	2040	8247	7975

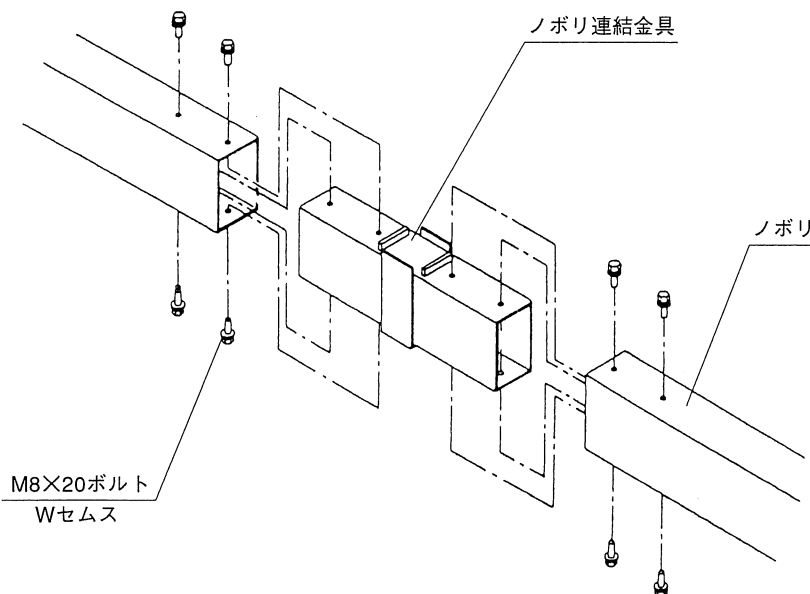
- ①左図を参照し柱埋込み位置を決めて下さい。
- ②柱の埋込み位置に900×900ミリ以上・深さ500ミリ以上の穴を掘って下さい。
- ③割栗石を敷きつめ、必ず突き固めて下さい。
(注意) 地盤が軟弱な場所は、指定寸法以上の基礎穴を掘って下さい。
- ④コンクリート工事は骨組完了後に行ってください。
(注意) ●柱には必ずアンカー棒を取付けて下さい。

2. ノボリと柱の取付



- ①柱にスチールアームを差し込みボルトにて固定して下さい。
- ②スチールアームにノボリを差し込み、ボルトにて固定して下さい。
- ③ノボリ隙間キャップを、柱にビスにて固定して下さい。

3. ノボリの連結

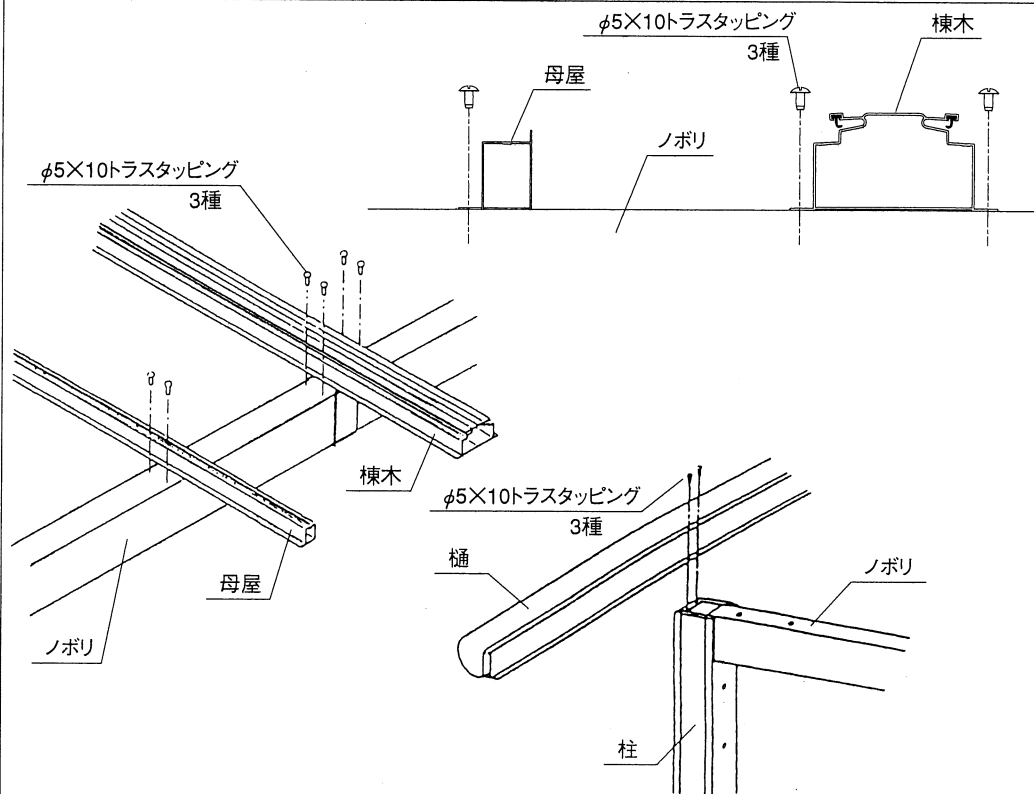


- ①ノボリにノボリ連結金具を差し込み、ボルトにて固定して下さい。
(注意) 柱の垂直、柱芯寸法を確認の上、ボルト締めして下さい。

柱芯寸法 (73) 7000ミリ
(80) 7975ミリ

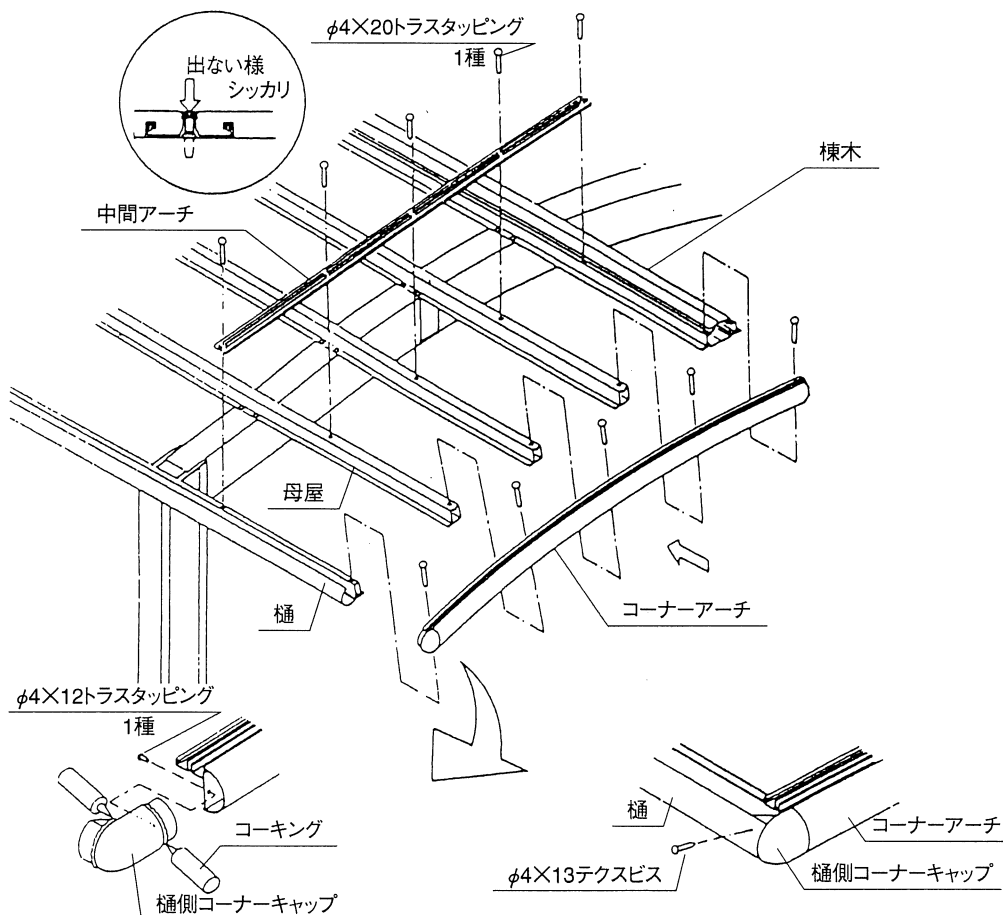
4. 樋・前枠・母屋の取付

- ① 樋をスチール・アームに取り付けます。
- ② 棟木をノボリに取付けて下さい。
- ③ 母屋をノボリに取付けて下さい。

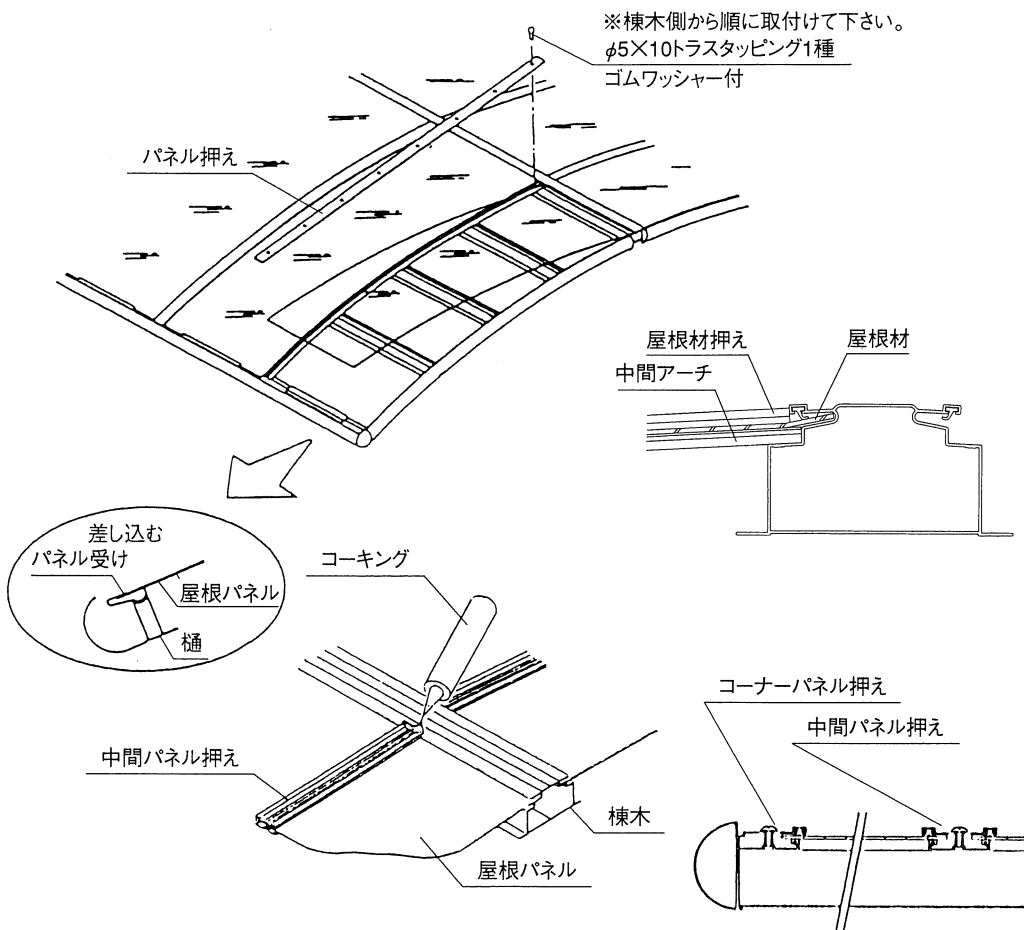


5. アーチ材の取付

- ① コーナーアーチに樋側のコーナーキャップを取付けて下さい。この時コーナーキャップ差し込み全部周にコーキングを施して下さい。
- ② 樋にコーナーキャップを差し込みビスにてコーナーアーチを取り付けます。この時、樋にコーナーキャップをビスで固定して下さい。
- ③ 中間アーチを棟木・樋・母屋の順にビスにて付けて下さい。(中間アーチには方向性は有りません)
- ④ アーチ材と棟木の接続部にコーキングを施して下さい。
- ⑤ コーナーキャップ接合部と樋全周にコーキングを施して下さい。
(注意)各部コーキングは水もれの原因となりますので、必ず施して下さい。
(注意)アーチ材止めビスの頭が、アーチ材から出ない様、確実にビス止めして下さい。(パネル押えが取り付けられない原因となります)

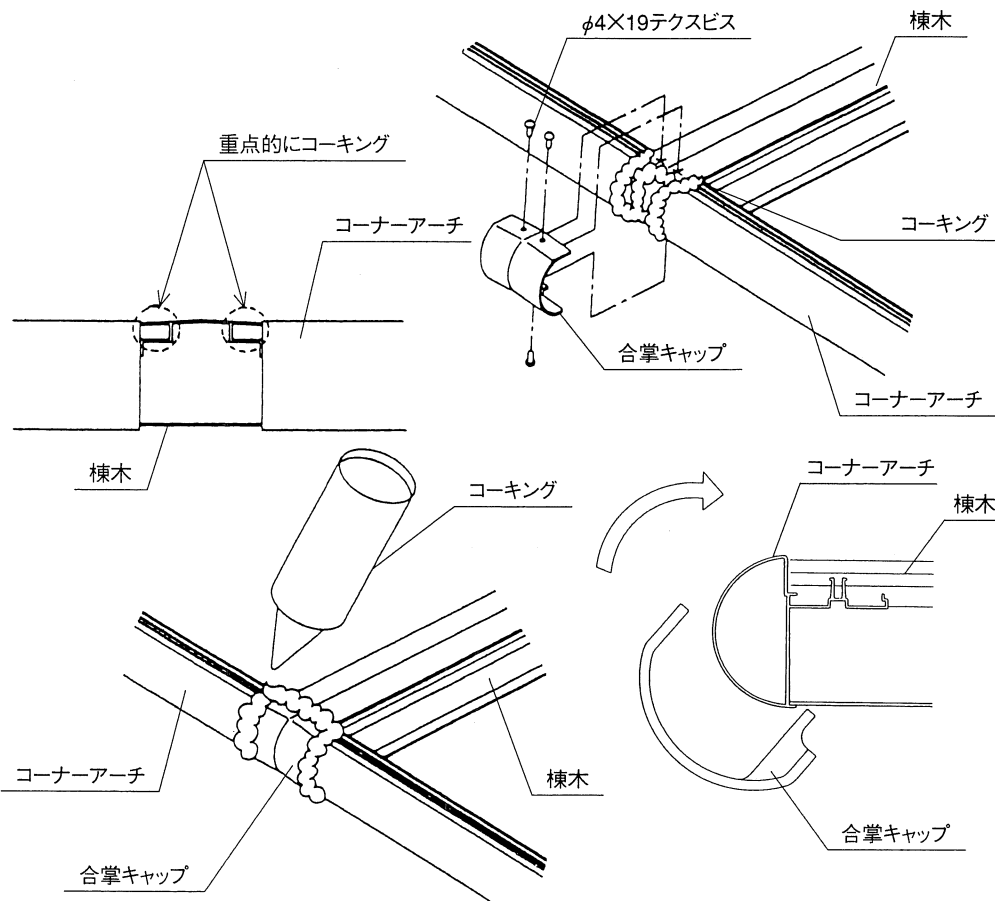


6. 屋根パネル・パネル押えの取付



- ①屋根パネルを棟木に突き当たるまで差し込み、アーチに添わせてパネル受けに差し込んで下さい。
(注意)
屋根パネルには、両面に養生テープが貼って有ります。必ず両面の養生テープをはがしてから、取付けて下さい。
- ②パネル押えを棟木に差し込みビスに棟木側から固定して下さい。
- ③パネル押えと棟木の接合部に必ず、コーキングを施して下さい。

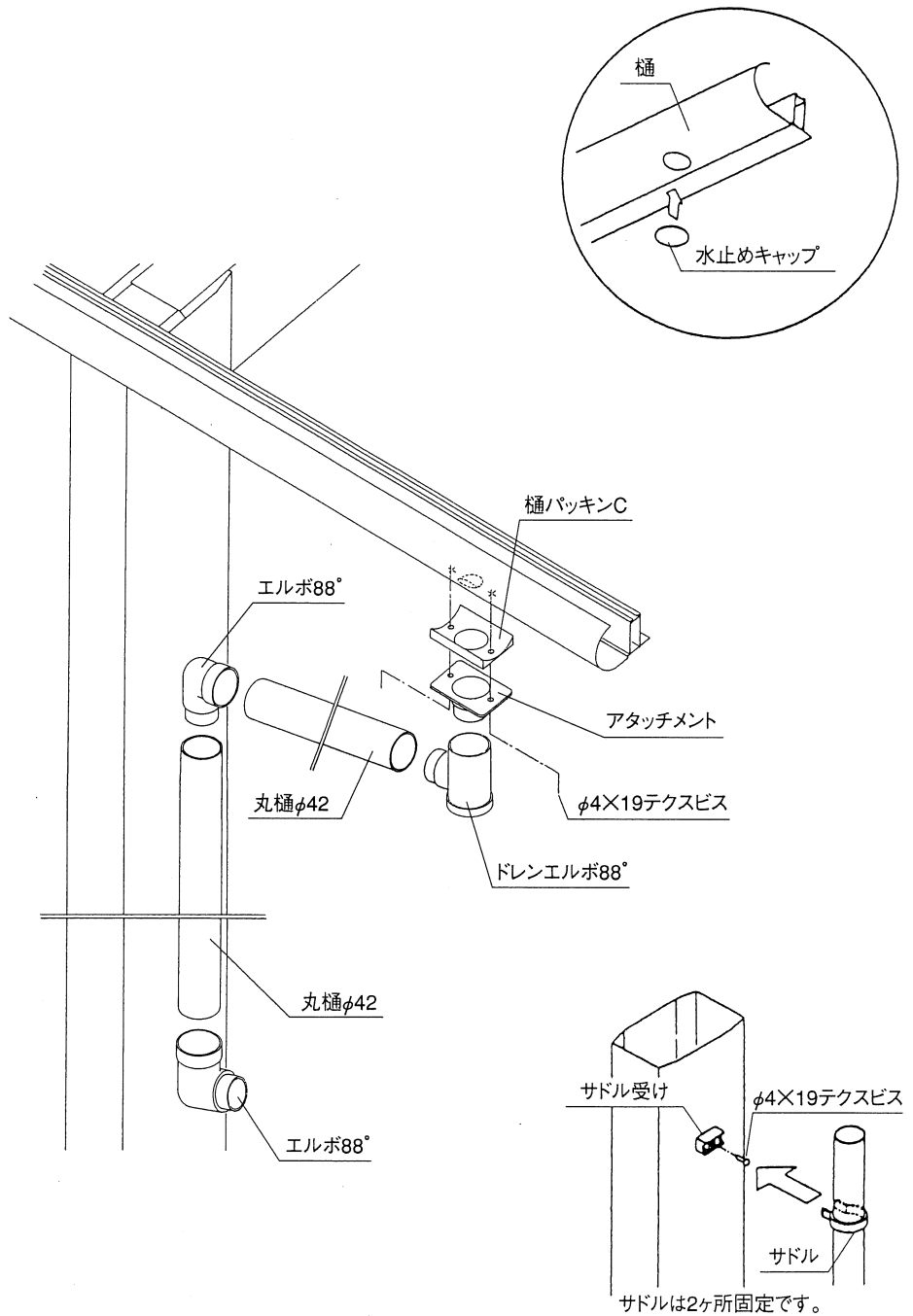
7. 合掌キャップの取付



- ①棟木・コーナアーチの全周にコーキングを十分に施して下さい。
(注意)
図の様に棟木（屋根材が入る部分）には重点的にコーキングを施して下さい。十分にコーキングしないと雨もれの原因となります。
- ②合掌キャップを差し込み、ビスにて固定して下さい。
- ③合掌キャップ全周にコーキングを施して下さい。

8. 樋セット取付

- ① 樋にあいている水抜き穴にアタッチメントを合わせてビスを止めします。
(注意)
この時樋パッキンをはさんでビス止めをして下さい。
- ② 現場に合わせて、樋ホースを切断します。
- ③ 接着剤にて、順次ドレンエルボ・樋ホース・エルボ・樋ホース・エルボを接着していきます。
- ④ サドル受けを、柱に2ヶ所、現場合せでビス止めし、樋ホースをサドルを用いて固定します。
- ⑤ 目隠し側は、水止めキャップにて穴をふさいで下さい。
- ⑥ アタッチメント・水止めキャップ全周にコーキングを施して下さい。



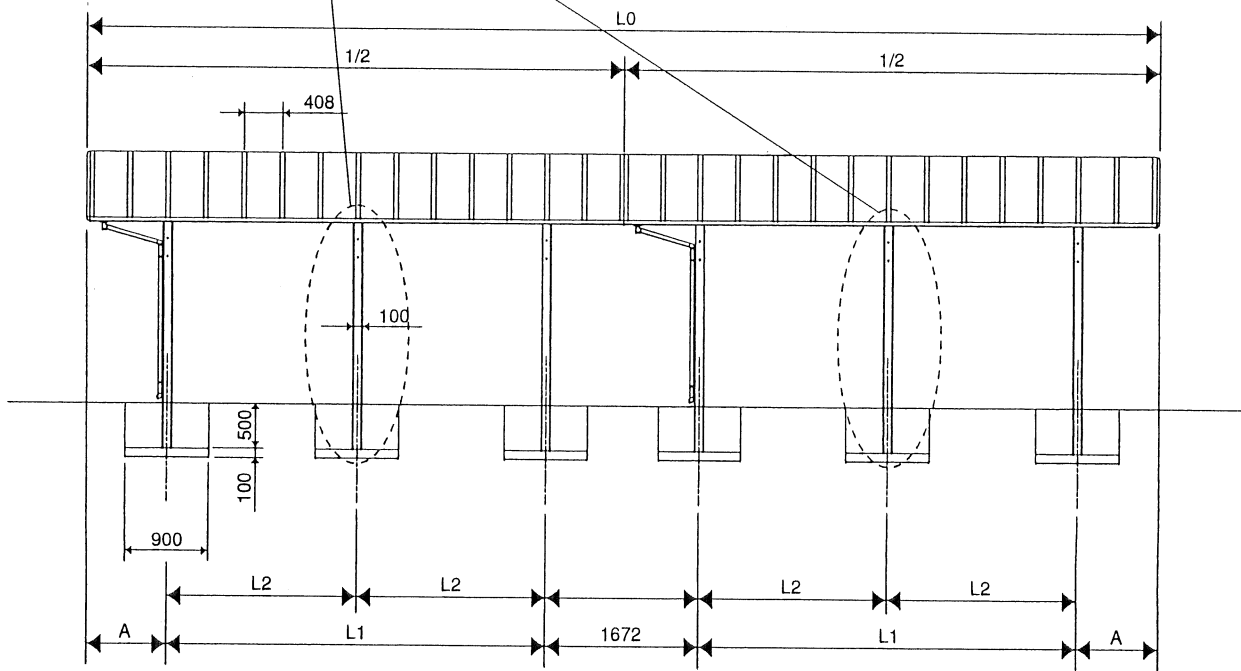
連棟基本寸法

寸法表

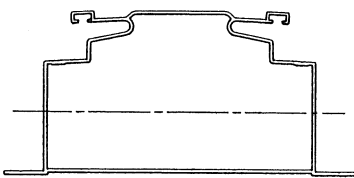
	L0	L1	L2	A
7350	9932	2900	—	1048
8050	9932	3264	1632	866
8058	11564	4080	2040	866

- 基礎部の施工は、左図を参照に、位置決めをして下さい。
- 施工方法については、単体基礎の施工 (P.5) を参照して下さい。

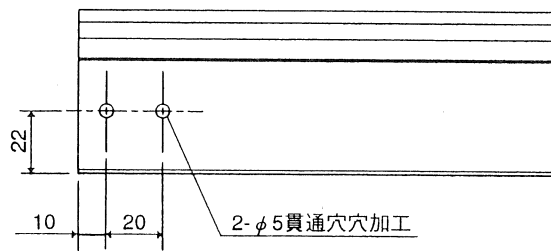
※7350は
中間柱は不要



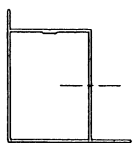
1. 棟木・母屋の加工



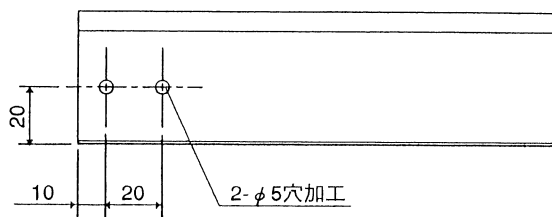
棟木



2-φ5貫通穴加工



母屋



2-φ5穴加工

- ①連棟する際には、組立前に棟木・母屋に左図の通り穴あけ加工をして下さい。

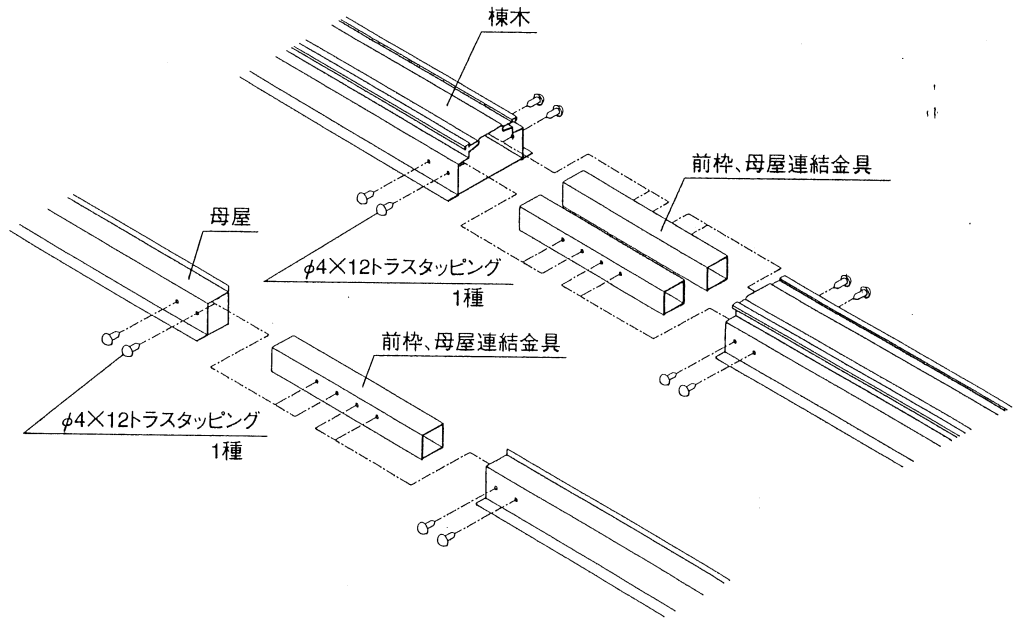
2. 棟木・母屋の連結

①前枠母屋連結金具を棟木に挿入し、隙き間がない様にビスにて連結して下さい。

(注意)

棟木連結後、必ず連結部全周に、コーキングを施して下さい。

②前枠母屋連結金具を各母屋に挿入し、隙き間がない様にビスにて連結して下さい。

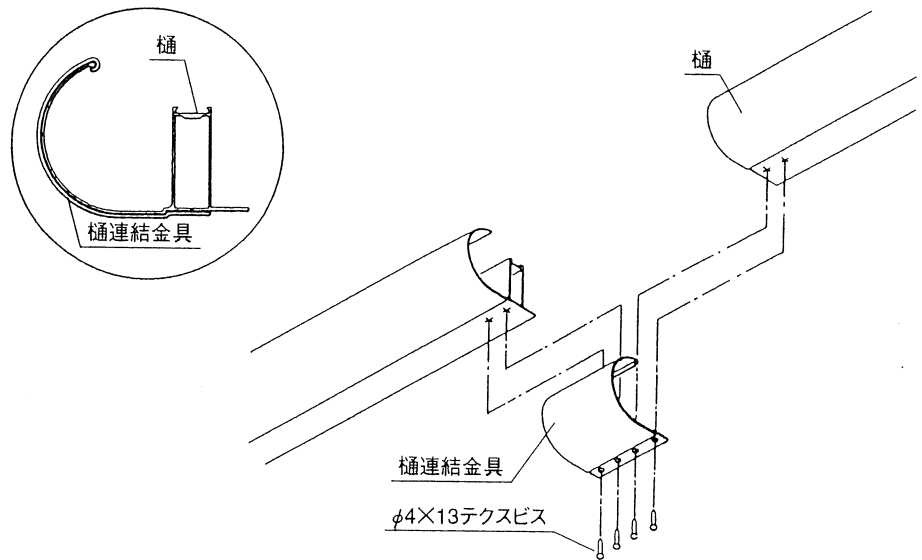


3. 樋の連結

①樋連結金具を樋にかぶせ下からビスにて固定して下さい。

(注意)

樋連結後、必ず連結部全周にコーキングを施して下さい。コーキングが不十分ですと、雨漏れの原因となりますので、注意して下さい。



4. 連結部・アーチの取付

①連結部には、中間アーチを取付けて下さい。

②屋根パネル取付後、連棟パネル押えにて固定して下さい。

(注意)

基本的な組付け方は単体組立説明書の(P.7)を参照下さい。

